

公益財団法人

NO. 72 (2025. 5. 30)

三河郷友会会報

三河郷友会 OB・OG 会

「遺贈寄付」のお願い

常務理事 大沼敏行

私は 1974 年の卒寮であるが、中村理事長曰く「学生を終えたばかりの私を寮監に推した 1 学年下の
大沼らの世代にはそれなりの支援をしてもらわないと」とのことで、1990 年から評議員を 12 年、その
後理事を 14 年、2016 年からは常務理事を務めている。確かに私の世代には野球部「ウィークス」を創
設した堀田義高君や国会議員になった後に一色町長を務めた故・都築譲君はじめパワフルな仲間が多
く、4 年生の時に寮の財政が苦しく寮費値上げは不可避かと問題になった際に、当時敷地内にあった平
屋の寮監宅を旧館 1 階に移し、そこを駐車場にして収益事業をしたらと提案し、実現したのは我々であ
った。その事業は今も続き寮財政に寄与している。

さて、それから半世紀が過ぎた三河寮（今は三河郷友会学生会館）であるが、現在は 2014 年に女子
学生会館が開設され、夕食時に食堂を覗くとひとつのテーブルで男子と女子の学生が談笑しながら一緒
に食事をしているという、われわれの世代からは夢のような光景を目の当たりにする。

しかしながら、問題はやはり寮財政の苦しさにある。中村理事長や酒井館長の努力により赤字経営に
はなっていないものの、2025 年度予算書の経常収益 9,000 万円の内訳は、概略以下のとおりである。

- ・ 学生寮運営収益 7,900 万円
- ・ 駐車場収益 1,000 万円
- ・ 受取寄付金 80 万円
- ・ 雑収益 10 万円

1964 年に完工した新館（百人寮）が築 60 年を過ぎ、何れ建替えをしなければならないがその資金確
保の目途は立っていない。2025 年 3 月末の財務諸表によれば、基本金 2,100 万円、改築積立金 9,000 万
円の 11,100 万円がその資金ということであり、最近の人手不足や資材費高騰を考えると、建屋や設備
の使用にもよるが概算 6 億円とも 8 億円とも言われる改築資金には程遠い状況にある。

自主独立を旨として公的資金援助も受けないなかで、どのように三河寮を次代に繋げていくかを考え
るとき、我々卒寮生ができる財政的支援を考えたい。

そこで提案したいのが「遺贈寄付」である。中村理事長も私も後期高齢者となり、終活が現実的にな
ってきたこともある。人生の最後に、若い頃親元を離れて東京で豊かとは言えないまでも楽しい寮生活
を送れたことに感謝の気持ちを僅かながら形にしたいということである。「遺贈寄付」とは自分の遺産
を特定目的のため特定先に寄付することである。通常、遺産は配偶者と子供が相続人となります。遺言
や終活ノートに「〇〇 銀行の預金のうち XX 万円を公益財団法人三河郷友会に寄付する」と明記するだけ
である。適当な遺言執行者（相続人）がいない場合は遺贈を仲介する NPO や金融機関もあるので調べて
おきたい。

毎年三河郷友会会報に付いてくる用紙で個別会費や男子館改築改修資金を送金しておられる方も多いかと思うが、毎年のことで煩わしいと思われる方もおられよう。生存中にまとめて寄付を頂けるのは有り難いことです。その場合は三河郷友会の事務局に申し出て頂くようにお願いします。

以上

公益財団法人三河郷友会OB・OG会の活動報告

令和6年度事業報告並びに決算書（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

1. 令和6年4月1日、OB9名・OG11名を新たに卒館生として迎えた。
2. 学生の活動とOB・OGとの交流を図るため、5月に役員と新入館生との懇親会を開催し、積極的に財政支援と広報活動を行った。
3. 特定費用準備金としての「改築資金積立金」は、三菱UFJ銀行に開設した専用口座に積立てた。
4. 令和6年11月10日、三河郷友会学生会館食堂で第38回OB・OG総会を開催した。在館生18名、OB・OG22名の参加があった。
5. 『公益財団法人三河郷友会会報』は、第70・71号を発行した。

収入の部

	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
普通会費	600,000	630,000	30,000	3,000円×210口
特別会費	300,000	470,000	170,000	5,000円×94口
男子館改築積立金募金	1,000,000	1,520,000	520,000	20,000円×76口
創立百年史売上金	15,000	15,000	0	
雑収入	10,000	0	△ 10,000	
前年度繰越金	762,079	762,079	0	
計	2,687,079	3,397,079	710,000	

支出の部

	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
HP維持運営費	400,000	396,000	△ 4,000	HP維持・管理費、人件費
入館生歓迎会費	100,000	168,294	68,294	入館生歓迎懇親会経費
通信・連絡費	300,000	345,570	45,570	切手・はがき代
印刷費	50,000	27,860	△ 22,140	会報(N070.71)印刷費
事務費	50,000	7,090	△ 42,910	事務用品・諸経費
振込手数料	40,000	32,017	△ 7,983	振込手数料
改築資金積立金	1,000,000	1,000,000	0	財団積立金として積立
次年度繰越金	747,079	1,420,248	673,169	次年度への繰越金
計	2,687,079	3,397,079	710,000	

＊改築改修積立金（三菱UFJ銀行へ一括積立）：10,000,000円＋1,000,000円（令和7年3月31日）

令和7年度事業計画並びに予算書（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

1. 令和7年4月1日、OB13名・OG8名を新たに卒館生として迎える。

2. 学生の活動とOB・OGとの交流について新役員と入館生との懇親会を5月に開催し、積極的な財政支援と広報活動を行う。
3. 特定費用準備金としての「改築資金積立金」は、三菱UFJ銀行の専用口座に積立てる。
4. 令和7年11月9日、第39回OB・OG総会を岡崎市（予定）で開催する。
5. 『公益財団法人三河郷友会会報』は、第72・73号を発行する。

収入の部

	前 年 度	今 年 度	差 異	備 考
普通会費	600,000	600,000	0	3,000円×200口
特別会費	300,000	300,000	0	5,000円×60口
男子館改築積立金募金	1,000,000	1,000,000	0	20,000円×50口
創立百年史売上金	15,000	15,000	0	7,500円×2冊
雑収入	10,000	10,000	0	総会の残金等
前年度繰越金	762,079	1,420,248	658,169	
計	2,687,079	3,345,248	658,169	

支出の部

	前 年 度	今 年 度	差 異	備 考
HP維持・運営費	400,000	400,000	0	HP維持管理費、人件費
入館生歓迎会費	100,000	120,000	20,000	入館生歓迎会費
通信・連絡費	300,000	400,000	100,000	切手・はがき・発送費
印刷費	50,000	50,000	0	会報(N070・71)印刷費
事務費	50,000	50,000	0	事務用品・諸経費
振込手数料	40,000	40,000	0	振込手数料
改築資金積立金	1,000,000	1,000,000	0	財団積立金として積立
次年度繰越金	747,079	1,285,248	538,169	次年度への繰越金
	2,687,079	3,345,248	658,169	

令和6年度会費納入者一覧（令和6年10月7日～令和7年3月31日）

（金額を入れず、会費の種類・口数のみ書きますのでご了承ください）

筒井健太郎（普特） 加藤 康雄（普） 中嶋 克宣（特） 宮田 卓明（普特） 鈴木 哲（普）
 林 全宏（普） 武田 正道（普） 富川 学（普特） シヤテラン恵美奈（特） 鷹野 徹也（普）
 井島悠紀子（普） 荒牧 功（特） 鳥居 裕貴（普特） 山本 怜（普） 縣 誠司（普）
 加藤 博和（普） 永井 寛（特） 榊原 邦恭（普） 中瀬 康博（普） 太田 博隆（普）
 飯沼 信彦（特） 吉見 傳一（普） 鈴木 義久（普） 岩月 昭佳（普） 増村 清人（普特改1）
 磯村 真人（特） 杉浦 康志（特） 河野 幸壺（普改1） 大島 一夫（普） 斎藤 智樹（特2）
 内空閑英昭（普2特） 佐橋 祐亮（普） 夏目 和人（特） 林 一馬（特） 鈴木 麻友（特）
 近藤 健太（特改1） 加藤 定彦（改1） 加藤 盛芳（普） 稲垣 光治（普） 後藤 彰彦（普特改1）
 浅井 和彦（普） 青木 一正（普） 高橋 明宏（普） 原田 俊彦（普） 大坪ひろし（普改1）
 山中 賢一（普） 鈴木伊能勢（特） 中西 雅俊（普） 岩崎 仁（普） 姫野 健二（普）

山口 賢治（普） 柴田 裕（特） 岡田 夏実（普） 田淵 学（特改1） 榊原 潤（普）
 大竹 克紀（普改1） 藤澤 孝好（普） 佐藤 公彦（普特改1） 神谷 寿興（特2） 多羅尾 昭（普）
 都築 重和（普） 大谷 重信（普） 川寄 英輝（普特改1） 高柳 弘（普） 外山 康生（特）
 中根 雛（普） 古澤 龍平（普） 宮本 一徳（百） 川寄 隆治（普改1） 横山 泰久（普）
 岩月 一詞（普） 河合雄一郎（普） 杉山 晃浩（普） 市川 薫（普特） 山本 淳（普）
 渥美 桃子（普） 吉見 卓郎（普） 都築 慎治（普改1） 浅井 和彦（普） 才木 康裕（普）
 村田 年彦（特） 青木 篤也（普） 生田 直樹（普特改1） 杉山 晃浩（普） 加藤 圭悟（普）
 河合 孝純（特） 所 佳之（特改1） 高柳 政典（普） 小嶋 邦昭（普特） 中根 隆裕（特改1）
 杉浦 隆（改1） 前田 稔（普） 前田 文彦（普） 柴田 憲広（普特） 天白 正孝（普）
 中山 智子（普2） 伊藤 圭佑（普） 早川久右衛門（普） 鈴木 基史（特）

令和7年度会費納入のお願い

三河郷友会OB・OG会会則第3条（本会は、三河郷友会学生会館OB・OG会員相互の交流と友情を深めるとともに、公益財団法人三河郷友会に対する維持運営に財政援助することを目的とする。）にもとづき、令和7年度の会費をご納入下さいますようお願いいたします。また、**館生の保護者におかれましては会の趣旨をご理解の上、任意でのご協力**をお願いいたします。

なお、郵便振替（00150-8-27434 三河郷友会OB会）で現金払いの場合**110円の加算料金**がかかりますのでご確認ください。「男子館改築積立金」5口（10万円）以上のご寄付の場合、身分証の提示を求められることがありますので、この点もご了解下さいますようお願いいたします。

普通会費 3,000円
 特別会費（1口） 5,000円（何口でも可）
 男子館改築積立金（1口） 20,000円（何口でも可）
 ＊（公益財団法人三河郷友会で「改築資金積立金」として積立てます）
 創立百年史（残部僅少） 7,500円

＊なお、特別会費等の繰越金についても金額が大きくなった場合、公益財団法人三河郷友会へ寄付し「改築資金積立金」に計上します。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・＜あ と が き＞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

三河郷友会は愛知県（主として三河部）出身者の長年にわたる寄付によって成り立っています。OB・OGを中心とする「男子館改築積立金」はそのための資金として積み立てています。このことをご理解の上、中・高年世代が現役生を支援する三河郷友会システムをご理解いただき、二世帯・三世帯にわたるサポーターとなっただけますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

（理事長 中村民雄）

OB会事務局 〒112-0002

東京都文京区小石川 5-19-37

公益財団法人三河郷友会

info@mikawagoyukai.net

<http://www.mikawagoyukai.net>

TEL 03-3946-0342（館長：酒井）